

「大学のまち」について

西宮市は、9つの大学・短大が所在し、約36,000人の学生が学ぶ、全国有数の「大学のまち」です。文教住宅都市・西宮にとって重要な存在である大学についての意見を伺い、今後の大学政策の参考にしたいと考えています。

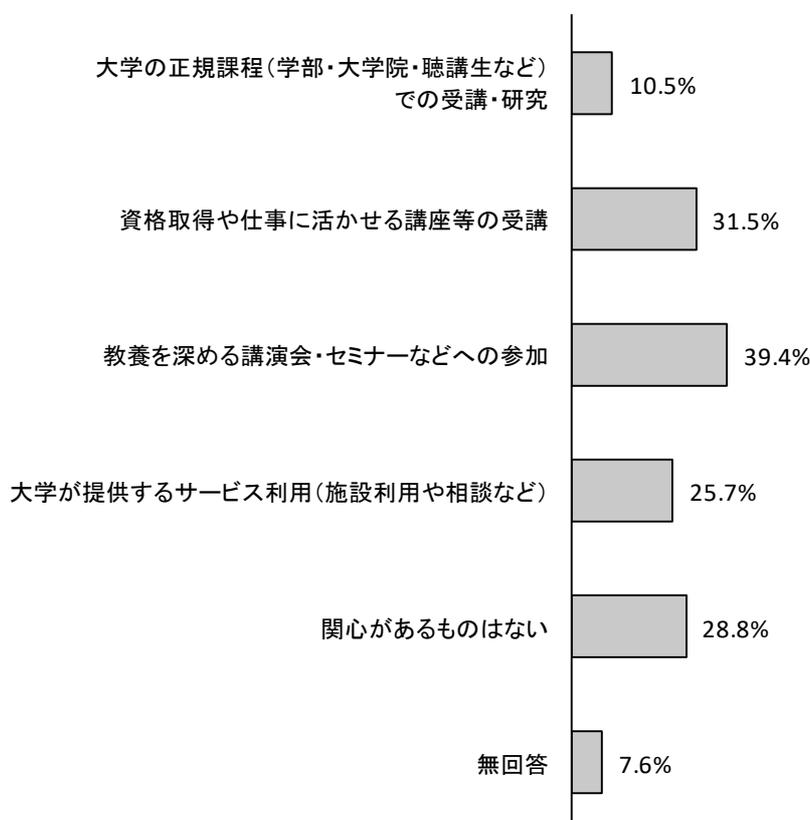
問22 あなたは、大学での講座等の受講やセミナーへの参加などについて、どのようなものに関心がありますか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

大学とのかかわりに関心があるものとして最も多い回答は「教養を深める講演会・セミナーなどへの参加」。

- ・ 大学とのかかわりに関心があるものとして、最も多い回答は「教養を深める講演会・セミナーなどへの参加」で39.4%、次いで「資格取得や仕事に活かせる講座等の受講」が31.5%となっている。

大学とのどのようなかかわりに関心があるか

(n=1,831)



- ・ 年齢・性別に見る回答の割合は、「教養を深める講演会・セミナーなどへの参加」は60歳代の男性および50～60歳代の女性が高い傾向にある。「資格取得や仕事に活かせる講座等の受講」は男女共に50歳代以下で高い傾向にある。

(単位：%)

| | 大学の正規課程(学部・大学院・聴講生など)での受講・研究 | 資格取得や仕事に活かせる講座等の受講 | 教養を深める講演会・セミナーなどへの参加 | 大学が提供するサービス利用(施設利用や相談など) | 関心があるものはない | 無回答 |
|-------------------|------------------------------|--------------------|----------------------|--------------------------|-------------|------|
| 全体(n=1,831) | 10.5 | 31.5 | 39.4 | 25.7 | 28.8 | 7.6 |
| 男性 18～19 歳(n=12) | 41.7 | 50.0 | 33.3 | 25.0 | <u>16.7</u> | 8.3 |
| 男性 20～29 歳(n=41) | 19.5 | 48.8 | <u>26.8</u> | 24.4 | 36.6 | 2.4 |
| 男性 30～39 歳(n=69) | 13.0 | 43.5 | 30.4 | 33.3 | 26.1 | 4.3 |
| 男性 40～49 歳(n=126) | 11.9 | 47.6 | 40.5 | 24.6 | 23.8 | 3.2 |
| 男性 50～59 歳(n=127) | 17.3 | 35.4 | 40.9 | 29.1 | 27.6 | 1.6 |
| 男性 60～69 歳(n=124) | 14.5 | 24.2 | 54.8 | 25.8 | 28.2 | 3.2 |
| 男性 70～79 歳(n=145) | 4.1 | <u>4.1</u> | 36.6 | 21.4 | 38.6 | 13.1 |
| 男性 80 歳以上(n=53) | 3.8 | <u>3.8</u> | 34.0 | <u>3.8</u> | 39.6 | 24.5 |
| 女性 18～19 歳(n=14) | 21.4 | 35.7 | <u>21.4</u> | 42.9 | 28.6 | 7.1 |
| 女性 20～29 歳(n=62) | 14.5 | 58.1 | <u>19.4</u> | 17.7 | 22.6 | 0.0 |
| 女性 30～39 歳(n=157) | 10.8 | 49.0 | 36.3 | 36.9 | 28.7 | 2.5 |
| 女性 40～49 歳(n=204) | 13.2 | 53.9 | 43.6 | 31.4 | 19.1 | 2.0 |
| 女性 50～59 歳(n=177) | 11.3 | 41.8 | 50.8 | 31.6 | 22.6 | 1.1 |
| 女性 60～69 歳(n=186) | 8.6 | <u>17.2</u> | 49.5 | 26.9 | 31.7 | 4.8 |
| 女性 70～79 歳(n=151) | 3.3 | <u>9.3</u> | 30.5 | 17.9 | 38.4 | 19.9 |
| 女性 80 歳以上(n=90) | 2.2 | <u>3.3</u> | <u>27.8</u> | <u>10.0</u> | 30.0 | 36.7 |

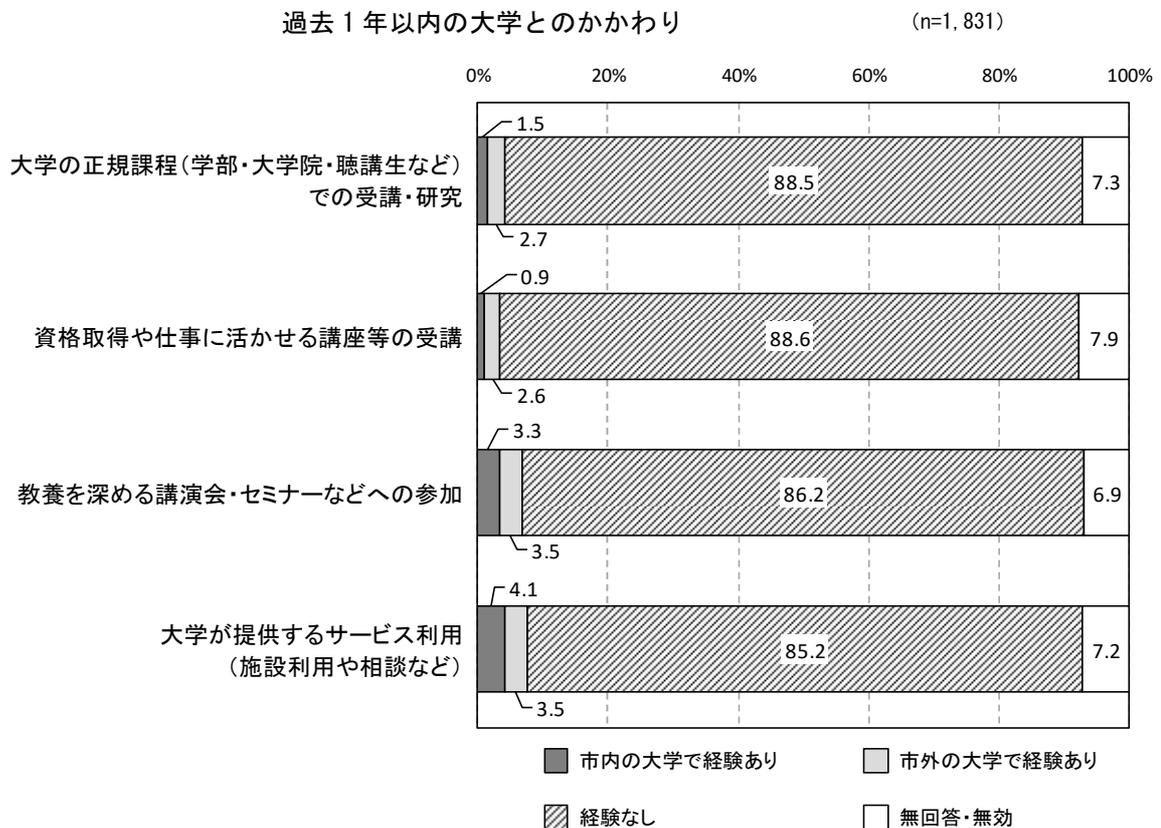
※表内の網掛け部分は、全体を10ポイント以上上回るものを示している。

表内の下線斜体部分は、全体を10ポイント以上下回るものを示している。

問 23 あなたは、大学での講座やセミナーなどについて、過去1年以内に受講や参加した経験はありますか。以下のア～エの項目についてあてはまるものに○をつけてください。

過去1年以内のかかりとして市内・市外合わせて、最も多い回答は「大学が提供するサービス利用（施設利用や相談など）」。

- 過去1年以内の大学とのかかりとして市内・市外合わせて、最も多い回答は「大学が提供するサービス利用（施設利用や相談など）」で7.6%、次いで「教養を深める講演会・セミナーなどへの参加」が6.8%となっている。
- 過去1年以内にかかりのあった大学の所在地について、どの項目も「市内の大学で経験あり」と「市外の大学で経験あり」の割合は大差ない。



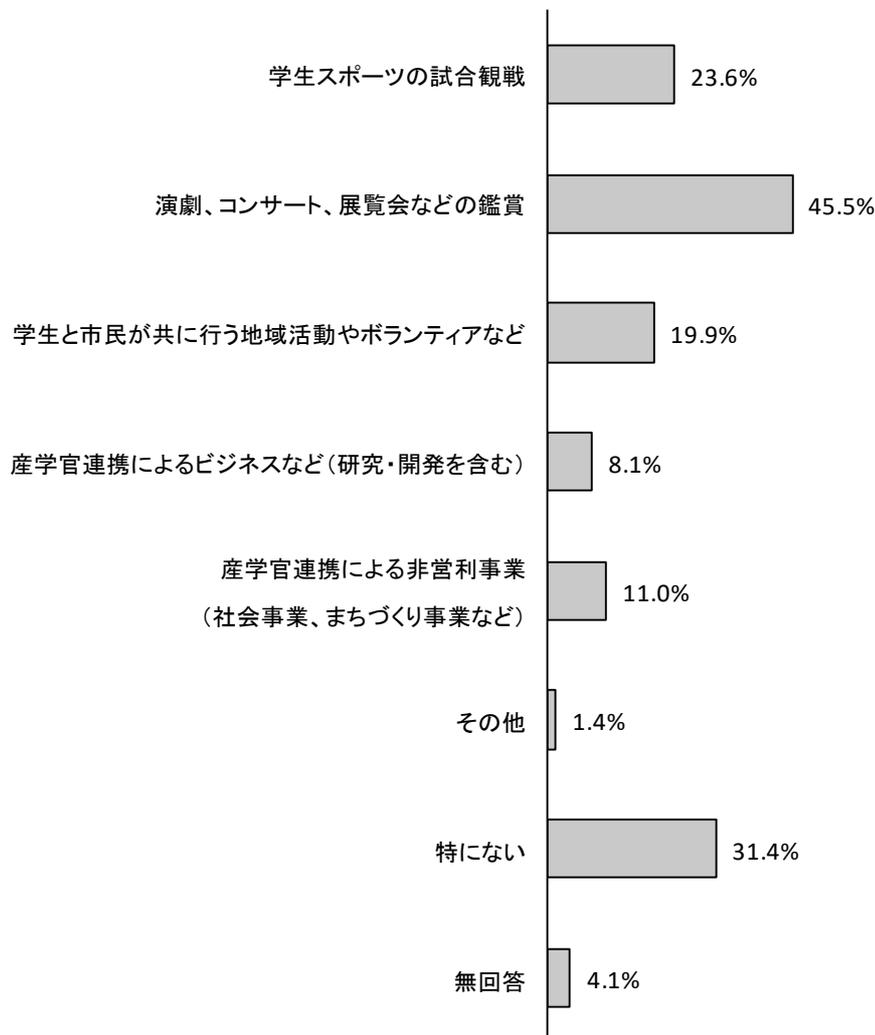
問 24 大学もしくは学生が実施するイベント等で、あなたが参加したり、関わったりしてもよいと思うものは何ですか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

大学・学生が実施するイベント等で関わってもよいと思うものとして最も多い回答は「演劇、コンサート、展覧会などの鑑賞」。

- ・ 大学・学生が実施するイベント等で関わってもよいと思うものとして、最も多い回答は「演劇、コンサート、展覧会などの鑑賞」で45.5%、次いで「特にない」が31.4%となっている。

大学・学生が実施する関わってもよいと思うイベント等

(n=1,831)



- ・ 年齢・性別に見る回答の割合は、「演劇、コンサート、展覧会などの鑑賞」は女性で高い傾向にあり、「学生スポーツの試合観戦」は男性で高い傾向にある。「産学官連携によるビジネスなど（研究・開発を含む）」は若い世代の男性で高い傾向にある。

(単位：%)

| | 学生スポーツの試合観戦 | 演劇、コンサート、展覧会などの鑑賞 | 学生と市民が共に行う地域活動やボランティアなど | 産学官連携によるビジネスなど（研究・開発を含む） | 産学官連携による非営利事業（社会事業・まちづくり事業など） | その他 | 特になし | 無回答 |
|-------------------|-------------|-------------------|-------------------------|--------------------------|-------------------------------|-----|-------------|------|
| 全体(n=1,831) | 23.6 | 45.5 | 19.9 | 8.1 | 11.0 | 1.4 | 31.4 | 4.1 |
| 男性 18～19 歳(n=12) | 41.7 | <u>8.3</u> | 25.0 | 16.7 | 16.7 | 0.0 | 25.0 | 0.0 |
| 男性 20～29 歳(n=41) | 26.8 | <u>26.8</u> | 19.5 | 22.0 | 12.2 | 0.0 | 36.6 | 2.4 |
| 男性 30～39 歳(n=69) | 30.4 | <u>30.4</u> | 21.7 | 21.7 | 17.4 | 0.0 | 37.7 | 1.4 |
| 男性 40～49 歳(n=126) | 41.3 | 38.9 | 21.4 | 19.0 | 14.3 | 1.6 | 23.0 | 3.2 |
| 男性 50～59 歳(n=127) | 39.4 | 50.4 | 20.5 | 14.2 | 18.9 | 1.6 | 26.0 | 0.0 |
| 男性 60～69 歳(n=124) | 27.4 | 42.7 | 19.4 | 8.1 | 12.9 | 0.8 | 29.8 | 2.4 |
| 男性 70～79 歳(n=145) | 28.3 | <u>35.2</u> | 12.4 | 3.4 | 9.0 | 1.4 | 39.3 | 5.5 |
| 男性 80 歳以上(n=53) | 18.9 | <u>32.1</u> | <u>9.4</u> | 0.0 | 3.8 | 3.8 | 41.5 | 11.3 |
| 女性 18～19 歳(n=14) | 28.6 | 50.0 | 21.4 | 0.0 | <u>0.0</u> | 0.0 | 35.7 | 0.0 |
| 女性 20～29 歳(n=62) | 24.2 | 43.5 | 16.1 | 11.3 | 4.8 | 0.0 | 37.1 | 3.2 |
| 女性 30～39 歳(n=157) | 20.4 | 48.4 | 21.7 | 7.6 | 12.1 | 2.5 | 31.8 | 0.6 |
| 女性 40～49 歳(n=204) | 25.5 | 57.8 | 28.9 | 7.4 | 11.3 | 1.5 | <u>20.1</u> | 2.5 |
| 女性 50～59 歳(n=177) | 21.5 | 56.5 | 23.2 | 9.0 | 15.8 | 2.3 | 26.6 | 1.1 |
| 女性 60～69 歳(n=186) | 17.7 | 54.8 | 25.8 | 4.8 | 9.7 | 0.5 | 32.8 | 0.5 |
| 女性 70～79 歳(n=151) | <u>7.3</u> | 45.7 | 14.6 | 2.6 | 4.0 | 0.7 | 40.4 | 8.6 |
| 女性 80 歳以上(n=90) | <u>3.3</u> | <u>34.4</u> | <u>4.4</u> | 0.0 | 1.1 | 0.0 | 41.1 | 21.1 |

※表内の網掛け部分は、全体を 10 ポイント以上上回るものを示している。

表内の下線斜体部分は、全体を 10 ポイント以上下回るものを示している。

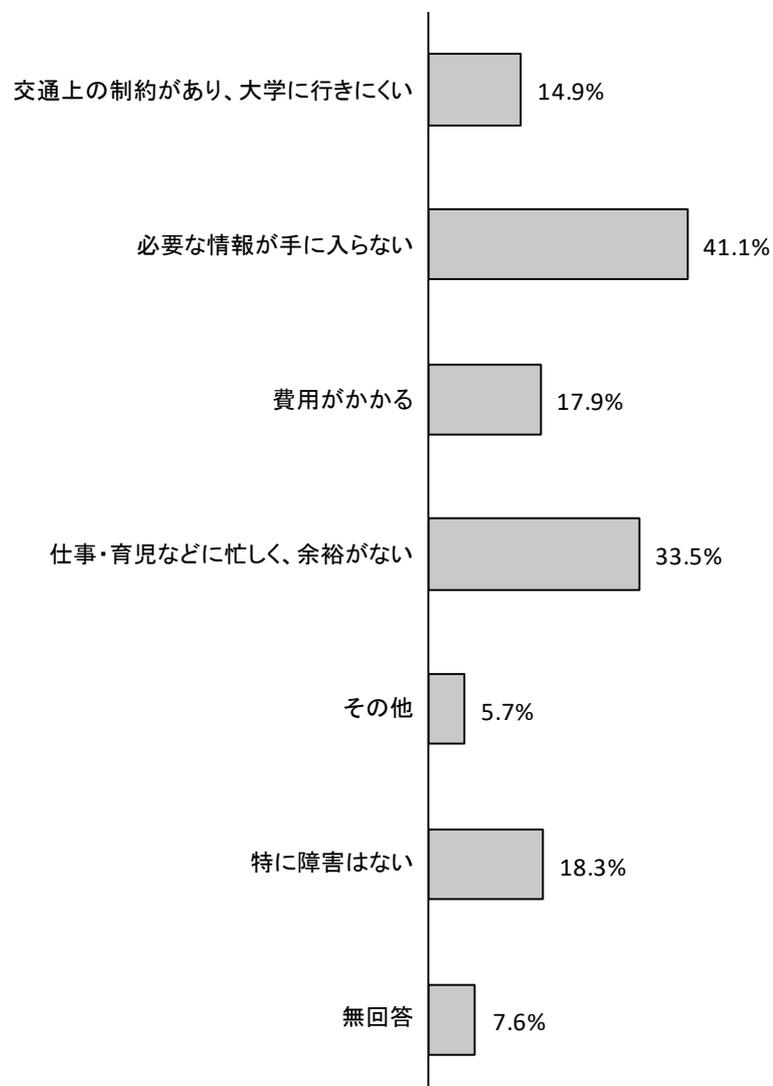
問 25 問 22～24 に記したような大学の取り組みについて、受講や参加・利用しようとする場合に障害になることは何ですか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

大学とのかかわりにおいて障害となることとして最も多い回答は「必要な情報が手に入らない」。

- 大学とのかかわりにおいて障害となることとして、最も多い回答は「必要な情報が手に入らない」で 41.1%、次いで「仕事・育児などに忙しく、余裕がない」が 33.5%となっている。
- その他としては、「健康面・身体面で参加が難しい」や「日程があわない」などといった回答があった。

大学とのかかわりにおいて障害となること

(n=1,831)



- 年齢・性別に見る回答の割合は、「仕事・育児などに忙しく、余裕がない」は30～50歳代の男女で高い傾向にある。
- 「費用がかかる」は男女共に若い世代で高い傾向にある。

(単位：%)

| | 交通上の制約があり、大学に行きにくい | 必要な情報が手に入らない | 費用がかかる | 仕事・育児などに忙しく、余裕がない | その他 | 特に障害はない | 無回答 |
|-------------------|--------------------|--------------|------------|-------------------|------|------------|------|
| 全体(n=1,831) | 14.9 | 41.1 | 17.9 | 33.5 | 5.7 | 18.3 | 7.6 |
| 男性 18～19 歳(n=12) | 25.0 | 33.3 | 33.3 | <u>8.3</u> | 0.0 | 41.7 | 0.0 |
| 男性 20～29 歳(n=41) | <u>4.9</u> | <u>24.4</u> | 22.0 | 36.6 | 4.9 | 24.4 | 4.9 |
| 男性 30～39 歳(n=69) | 15.9 | 46.4 | 29.0 | 62.3 | 1.4 | <u>5.8</u> | 2.9 |
| 男性 40～49 歳(n=126) | 15.1 | 46.0 | 15.9 | 59.5 | 6.3 | <u>6.3</u> | 4.0 |
| 男性 50～59 歳(n=127) | 11.8 | 47.2 | 18.1 | 42.5 | 2.4 | 15.7 | 1.6 |
| 男性 60～69 歳(n=124) | 12.1 | 45.2 | 18.5 | 24.2 | 3.2 | 25.8 | 4.0 |
| 男性 70～79 歳(n=145) | 17.9 | 35.2 | 13.1 | <u>6.2</u> | 4.8 | 30.3 | 11.7 |
| 男性 80 歳以上(n=53) | 9.4 | <u>18.9</u> | 9.4 | <u>0.0</u> | 24.5 | 20.8 | 26.4 |
| 女性 18～19 歳(n=14) | 14.3 | 50.0 | 35.7 | <u>21.4</u> | 7.1 | 28.6 | 0.0 |
| 女性 20～29 歳(n=62) | 12.9 | 53.2 | 29.0 | 37.1 | 0.0 | 17.7 | 3.2 |
| 女性 30～39 歳(n=157) | 16.6 | 47.8 | 20.4 | 65.6 | 3.2 | <u>5.7</u> | 1.3 |
| 女性 40～49 歳(n=204) | 15.2 | 46.6 | 17.6 | 58.3 | 3.9 | 8.8 | 1.0 |
| 女性 50～59 歳(n=177) | 14.7 | 42.9 | 19.2 | 44.6 | 3.4 | 19.2 | 0.6 |
| 女性 60～69 歳(n=186) | 16.7 | 46.8 | 18.3 | <u>12.9</u> | 6.5 | 24.7 | 6.5 |
| 女性 70～79 歳(n=151) | 14.6 | <u>30.5</u> | 11.3 | <u>5.3</u> | 11.9 | 26.5 | 20.5 |
| 女性 80 歳以上(n=90) | 15.6 | <u>21.1</u> | <u>7.8</u> | <u>1.1</u> | 11.1 | 25.6 | 35.6 |

※表内の網掛け部分は、全体を10ポイント以上上回るものを示している。

表内の下線斜体部分は、全体を10ポイント以上下回るものを示している。

施策に向けての一言 <「大学のまち」について>

問 22 は大学で行われている講座やセミナーなどへの関心を尋ねている。最も多い回答は「教養を深める講演会・セミナーなどへの参加」で 39.4%、次いで「資格取得や仕事に活かせる講座等の受講」が 31.5%となっている。また「大学が提供するサービス利用（施設利用や相談など）」にも 25.7%の人々が関心を示している。一方、「関心があるものはない」との回答が 28.8%ある。教養的な関心と、キャリアに活かせる講座などへの関心が相対的に高いようである。また、「大学の正規課程での受講・研究」にも 1割の人々が関心を示している。これを性別・年代別にみると 50代までの世代において「資格取得や仕事に活かせる講座等の受講」を望む割合が高く、50代以上からはむしろ教養志向が強まる傾向がうかがえる。「大学の正規課程での受講・研究」を選ぶ人はやはり若い世代において相対的に高いが、30代から 60代においても 1割程度は存在している。

問 23 は大学での講座やセミナーの受講経験を尋ねている。過去 1年以内の大学とのかかわりとして市内・市外合わせて、最も多い回答は「大学が提供するサービス利用（施設利用や相談など）」の 7.6%、次いで「教養を深める講演会・セミナーなどへの参加」が 6.8%となっている。実際に受講等を行った大学の所在地については、「市内の大学で経験あり」と「市外の大学で経験あり」の割合は大差ない。ニーズはあっても実際に利用している割合は 1割に満たない。

問 24 は「大学もしくは学生が実施するイベント等で、あなたが参加したり、関わったりしてもよいと思うもの」を尋ねている。ここでは「演劇、コンサート、展覧会などの鑑賞」が 45.5%と最も多く、次に「学生スポーツの試合観戦」が 23.6%、「学生と市民が共に行う地域活動やボランティアなど」が 19.9%となっている。これを性別・世代別にみると、「学生スポーツの試合観戦」においては相対的に男性が多く、「演劇、コンサート、展覧会などの鑑賞」では逆に女性の割合が高い。

問 25 では大学の取り組みに関わる際の障害について尋ねている。最も多い回答は「必要な情報が手に入らない」で 41.1%、次いで「仕事・育児などに忙しく、余裕がない」が 33.5%である。前者については関連情報の可視性を高める施策を大学と行政が連携して進めていくことが望ましい。後者については労働時間の短縮や、託児サービスの充実が必要であろう。

また、この回答を性別・世代別に見ると、時間的余裕があっても費用面での障壁を感じる若年層と、費用よりも時間的余裕のない壮年世代という構図が浮かぶ。この点の支援を上手くやると大学の利用とそこからくる満足度を高められるかもしれない。

（関西学院大学 山田真裕）